

## 三条市教育制度等検討委員会最終報告 地域説明会記録（第二中学校区）

- 1 日 時 平成20年5月27日（火）午後7時～午後8時20分
- 2 会 場 第二中学校 体育館
- 3 参加者数 11人
- 4 教育委員会出席者  
梨本教育委員長 松永教育長 古川教育部長 池浦教育総務課長 駒澤学校教育課長
- 5 説明会次第
  - ① 開会あいさつ 梨本教育委員長
  - ② 最終報告説明 池浦教育総務課長
  - ③ 質疑、応答等
  - ④ 閉会あいさつ 松永教育長
- 6 質疑、応答等の概要

### 発言者 A

**耐震化** 学校規模、施設整備の現状で建物の耐震の検査をやったというが、二中学区の一ノ木戸小と第二中学の結果はどうだったのか。

### 教育総務課長

建築基準法の改正が昭和56年に行われており、57年以降の建物については、震度6以上には耐えるという基準になっている。問題となる建物は、昭和56年以前の旧耐震基準以前のもので、市内で17校ある。

ただ、1つの学校でも棟単位で建てていることから、例えば、昭和45年11月に建設された二中においても、それ以降に建設された棟もあり、1つの学校単位で、良い悪いの判断はできない。棟単位で言うと、全市内96棟あり、昨年、この全ての耐震化優先度調査を行った。この調査は、耐久度まで調べるものでなく、ここから手をつけるという順番を5段階での評価をつけるものであるが、それによれば、二中学区は、決して良い方ではない。

耐震補強には膨大な予算が伴うが、今後は、昨年の中越沖地震、最近では中国においても地震があったので、国も特に悪いところは、早急に手当するよう補助金等の底上げがなされている。そのような中で、三条市としても耐震化に向け今後計画的に取り組んでいきたいと考えている。

### 発言者 A

ということは、順番はあるけれども、精密な検査は、まだということか。

### 教育総務課長

優先度調査は、5段階で順番を決めているだけである。これからは、実際に2次診断を行い、耐久度を調べなければいけない。それで、I s 値0.3未満であると、早急に三条市としても計画性を持って対応していかなければならないと考えている。

### 発言者 A

嵐南の方は、この小中一貫で新しい建物が建つらしいが、この学区の特に小学校は建物が古く地震など心配がある。耐震補強をするのか、何年か後に新しい建物を造るのか、まだ決まっていないのか。

#### **教育総務課長**

まだ決まっていない。確かに一ノ木戸小は、三条小に次いで古い建物であり、かなり心配なところであるが、今後2次診断をやった上で、改築がいいのか補強がいいのかを含めて三条市全体の計画の中で適切な対応を図っていきたい。

#### **発言者B**

**連携型のイメージ** 小中一貫教育で校舎が別々の4・3・2というのはどのようなのか。

#### **学校教育課長**

小学校は6年、中学校は3年の義務教育9年はそのままだ。中期と言われる小学校の5、6年と中学1年を含む特に重要な部分での連携を深めていこうというものである。今考えられることは、一ノ木戸小と二中は距離が近いので、5、6年生が中学校に行ったり、中学生が小学校の行事に参加したり、又は小学校の先生が中学校へ行き教えたり、また中学校の先生が小学校へ行き教えたりするものをイメージしていただければと思う。6年、3年ではなく、9年間で特に真ん中の連携をしっかりやっていくということで考えていただきたい。

#### **発言者B**

小中一貫は、素晴らしいことだと思う。縦社会の1つのくくりとして、中学生が朝の登校の際、小学生と一緒に登校するなどの形となれば、防犯面でもメリットがある。色々なことを考えると、非常にメリットがあると感じる。

#### **発言者A**

**卒業・制服・部活** 小中一貫教育での卒業は、具体的にどうなるのか。制服はどうなるのか。また、部活は小中連携では、どうなるのか。

#### **学校教育課長**

学習指導要領の改訂はしないので、小学校は6年で卒業、中学校は3年で卒業となる。その中で、4・3・2のうち、中期の3の連携を大切にしていきたい。

#### **発言者A**

どちらかというと、先生方の方で一体感を持って子どもを見ていくということか。

#### **学校教育課長**

そうだ。そして、子どもの交流も地域の実態、学校の実態に合わせ、やれるところから、積極的にやっていただきたい。

部活は、先生方同士の話し合いで、どこまでやれるかなどの見通しができれば小中連携の部活は可能と思われる。

制服については、今後細かい話が出てくると思われるので、話し合いの中で決まっていく。

## 教育長

原則として、一貫校という言葉を使っているが、学校が別々であるし、その学校の教育課程を終了した者を卒業とする。4・3・2区分にしたからといって、4年生で卒業証書を出すというわけではなく、6年間を一区切りとしたもので卒業証書を出す。

部活動等や授業などの連携についての問題には、できることとできないことがたくさんある。今後、こんな形で推進していくことが明記されれば、各学校の先生、地域、保護者に具体的に実態にあった形で考えていってもらえるようになる。そうすると、地域の独自性が出てくる。

## 教育委員長

小学校、中学校の課程を卒業したら卒業証書が出るということは、今までと変わらない。ただし、一貫教育は授業や行事等において生徒同士が交流をすることと、先生方が子どものための情報交換を行いより良い授業をやっていく。そのためには高学年と中学1年生と一緒に授業をやっていこうというソフト面のことがあると思う。

## 発言者A

**先生の負担** 小中一貫教育により、先生方の負担が増えると、子どもに向ける目が減って、いじめなどの問題が出るのが心配である。

## 教育委員長

4・3・2区分は、生徒がスムーズに小学校から中学校へ移行できるよう、先生方がスムーズに情報交換等ができ、みんなに負担がかからないように移行できることがこの制度のねらいである。

## 発言者A

話を聞いて、とても夢があると思う。また、期待もしている。がんばってほしい。

## 教育部長

小中一貫教育は、学校関係者と地域の方々と話し合いながら作りあげていくものだと思う。小中一貫教育は、小中学校の先生方が協力し、大きな教員集団ができ、連携が進むに連れて、いくつものメリットが出てくる。最終報告で指摘された、いじめなどの様々な問題も大きく改善する可能性がある。先進地域を視察した際も、その関係者の、成果があがっているとの自信に満ちた姿が印象的であった。

もし、小中一貫教育が推進されるということになれば、地域、学校と一体に進めていきたい。

## 発言者A

**情報公開** 学校への説明を行っていると思うが、先生方の視点、父兄の視点では違いがあると思う。この制度について先生方がどう思っているかを聞かせてほしい。ホームページに掲載しても、まわりに聞く限りでは、そこまでして見ない人が多いのが現状で、そういった情報は学校から文面で子どもから家庭に流されると、もっと認知度が上がるのではないかと。

## 教育総務課長

まず、量的に膨大になる欠点があり、それを各児童生徒に配布するとなると、大きな冊子のようなものになってしまう。それを小さくするために、こちらで要約すると、質問等の真意が消えてしまうということもあるので、できればそのままの状態で見たいという思いもある。

ホームページ等で見にくいという場合は、市の情報公開コーナーや各公共施設で見ただけのようにしてある。各個人に全ての資料、会議録をお渡しできればいいが、ある程度このようなものには、限界もあるということで理解いただきたい。

#### **発言者A**

経費等がかかるということだろうと思うが、保護者に分かりやすいように、情報を公開することは必要だと思う。

#### **教育長**

少し話をもどるが、先生方の反応について、学校運営において校長、教頭がしっかりとした意識を持ってリーダーシップを発揮していくことが大事だろうと思う。そのため、この検討委員会の最終報告を受けて、まず理解していただくため、校長、教頭、教務主任に説明会を行った。それによりこれからの三条市の教育はどうあるべきか等の問題意識を持って新年度を迎えたと思っている。次は個々の先生方に理解、意識を持っていただくため、学校での説明会を行っている段階である。

#### **学校教育課長**

子どもからのたよりの方が周知度が上がるということについて、学校でも、現在説明を受けている段階であり、この話が進んで理解が深まれば、当然これから学校だより等から、そういったことが家庭に伝わるようになると思う。現在途中経過である。ご理解をいただきたい。

#### **教育総務課長**

今回、要望をいただいたので、趣旨を曲げない程度にある程度まとめたものを学校を通して、あるいは他の方法を考えて、できるだけ広く伝わるように勤めたい。

この地域説明会もそのためのものであり、今回で終わりということではなく、今後更に進んでいった場合、またこのような学校単位での議論の場を作り、施策にいかしていきたいと思います。

#### **発言者B**

**先生の異動** 24年から実施予定となっているが、先生の異動もあるため、仮に三条市に異動してくる先生については、この制度をすぐに理解していただく先生に来てもらいたい。

#### **教育長**

三条市は新潟市と違い人事権を持っていないので、県教委とよく話し合いを行いたい。